



縁

この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
平成30年度学校だよりNo.3
平成30年4月10日
文責 校長 吉尾直樹

思いやりと実践力を持つ人間性豊かな生徒をはぐくみます
平成30年度大島中学校学校教育目標について



意欲あふれる頼りになる3年生

また、文書等でお知らせしましたように本校では、朝のランニングや合唱、リズムダンスなどの全校で取り組む活動を行っています。また、専門部活動や部活動など、さまざまな活動に生徒たちは取り組んでいます。どうしても忙しい時期が重なり、大変だと感じることもあると思います。

しかし、そうした時こそ、まず、何から取り組むのか見通しを持つことが大切です。生徒が混乱しないように、事前に予定を、生徒・保護者にお知らせしながら進めていきます。ぜひ、ご家庭でも生徒の背中を押していただければと思います。

18日にはPTA総会が行われます。この中学校3年間は、保護者の皆様にとっても子育てを楽しむ機会にしていただきたいと考えます。お忙しいことは存じますが、学校の諸活動にさまざまな形で関わっていただき、お子様の成長を実感したり、他の生徒の保護者と喜びを共有したりする場にしてほしいと思います。

どうぞ、チーム大島中の一員として、保護者の皆様もご参加ください。

平成30年度の大島中学校がスタートしました。今年度は、27名の生徒を中心に、一人ひとりが持つ力をしっかりと高め、学校教育目標である「思いやりと実践力を持つ人間性豊かな生徒の育成」に取り組みます。そのための重点努力事項として、①豊かな心の育成と②学力の定着と向上に力を入れます。

具体的には、①のために、相手の心を受け止める感性と表現力を磨きます。例えば、特別の教科道徳では、「考える」「議論する」ことを意識して、互いの考え方と向き合われます。②のためには、日々の授業でめあてとまとめを必ず行い、1時間の授業で「分かった！」を増やします。また、話し合いや自分の意見を発表する活動を行い、主体的に学ぶようにします。

①②以外にも、「フォーサイト(生活ノート)」を使い、先の見通しを持って行動する力を高め、タイムマネジメント力を培い、「自立力」を育みます。



互いを高め、磨き合う2年生



入学式の態度は立派でした。これからが楽しみ1年生

「手がけている仕事に全力で集中せよ。太陽の光でさえ、一点に集中しなければ発火しない」

アレクサンダー・グラハム・ベル（発明家／イギリス）

電話の発明で有名なグラハム・ベル。さまざまな仕事に追われるときには、一つのことに集中することの大切さを、太陽の光に例えて説明しています。忙しい時には、まず、このことからと集中すべきだと。新年度が始まり、特に1年生は、勉強や部活動などたくさんのこと忙しく感じていることでしょう。こうした時にこそ、「まず、このことに集中！」と考えてみましょう。